玉

人が参加

(好摩)

主催者を代表して奈良岡委員会、座長就任挨拶で始められ、集会は、小林副委員長の開

めて挨拶、続いてIGR出向

国鉄労働組合 盛岡地方本部 奈良岡 克 也 発行者 小林良宏

メールアドレス nrumori@poem.ocn.ne.jp

2005.5.10

第1361号



みんなつけよう 国労バッチ

編集者

出向満了控え出向者交流会.

者で開催した。 者で開催した。 出済の玉山村・好摩でIGR出向者、盛岡支部・関係分会代表者を含め二八人の参加出済の玉山村・好摩でIGR出向者、盛岡支部・関係分会代表者を含め二八人の参加地方本部は四月二一日に、「IGRいわて銀河鉄道出向者交流集会」を、銀河鉄道

働条件改善の闘い、公共交通としての第三セクター会社存続、安全・安定輸送を含め合員の出向満了を身近に感じての悩み・不安・意見等を交流し、その課題解決と、労鉄道が発足した。発足から二年四ヵ月が経過し、駅職場・設備職場に出向している組数約一八〇人中一四〇人強がJRからの出向者で構成される中で、IGRいわて銀河平成一四年一二月一日、東北新幹線八戸延伸によりJRから経営分離され、全社員 |幅広く議論された有意義な集会となった。

れた。

長が国鉄闘争の現状と昇進差 別事件の和解作業の状況を含

IGRへの切り替わりの○時 参加者からは、 JRから

組合員の購読料は 組合費の中に含む)

IGRの実態報告が行なわれた (発言者は、出向中の阿部育男さん・盛岡電気分会) が手助けする。そのような想 いでプロパーの若い社員と接 いでプロパーのおい社員と接 いでプロパーのおい社員と接 仲間で回している。契約業務いない。重要な仕事は国労の が多い。プロパーは二人しか職場)、「出向者は国労の仲間 もてなく悩んでいる」(保線 ろ話したいと思うが、集会をれている。出向仲間でいろい かいない。出向満了で全員帰だ。今現在プロパーは三人し ったら仕事が回らない。今個 人的に残ってくれとの話もさ

より、プロパー社員が、このをしてほしかった。出向社員 くしてほしい。それを出向者 職場を良くするとの想いを強 もっと早くこのような交流会 うと、よくやってきたと思う を境にしての慌ただしさを思

れた。

への総括と向かう一年間の活く 定期総会を開催し、一年間 日盛岡国労会館で第四○回 日盛元 1月二九 婦の会との交流学習会を重ね前から全林野青森地方本部主大切ではないかと考え、四年合の家族会と交流することも

) は何をなすべきか」等を抱) てもらえるか。そのために) う理解してもらい、協力し 家族会の悩みとして、「会動方針を確認しました。 が少ない」「役員の交代問員の減少及び行事への参加 「家族会のあり方をど

となる交流学習会を、六月一

日・一二日に開催すること

てきました。今年度も四度目

を見つけるためには、 そうした中、

としています。

また、今年度はひとりでも

け参加させていただけますよ

冢族会会長

盛岡支部

戸田

反対しよう。

る。全労働者の力で憲法改悪 動もまた労働組合の使命であ 内の改善する課題、JR会社 時間ではあったがIGR会社 時間ではあったがIGR会社 時間ではあったがIGR会社 時間ではあったがIGR会社 でいる。女性社員も多くいる ない」(電気職場)等の発言改善させる基本が決まってい 多くの課題があるが、それを いてゆけるのかが心配で悩ん い。今戻ってJRの仕事につ に本社を指導している実態だ。 ついてわからない。現場が逆 JR職場から離れて長

出向満了に向けては、基本はかの基本の部分の必要性はおかの基本の部分の必要性はおかの基本の部分の必要性はおい。 実と受け止め、個人が出した環境が変わってきたことも事 を全体で確認したい」とまと 化・平準化等待遇改善の要望か。出向者の業務分担の明確 結論はお互いが尊重すること も出された。出された声をど JR復帰であると思う。しか 時間が経過し、組合員の 交流集会を終えた。



30人が参加して集会が進められた

もらおうということで、レク多く会員に、気楽に集まって レーションを主にした行事を うお願いします。

にもご案内いたしますので、決定しましたら組合員の皆様 会で検討しています。日程が 是非多くの家族の方に働きか 一〇月頃に開催したいと役員 活動を続けていかなければかったという思いが持てるまた、家族会に参加して良 命を守り、暮らしをより豊 国労運動を側面から支えて るために小さな力を結集し の一日も早い解決を向 皆様の御理解をよろしくお と思っています。組合員の いきたいと思っております かにするために、国鉄闘争 働くものとその家族と生 かえ

冢族会の活動に

組合員の協力を

第10回地本ゴルフ大会

き 2005.6.2 (木) 8時集合

ところ 安比高原ゴルフ倶楽部

8時30分スタート

安全・安定輸送が本当にでき に復帰した後のIGR会社の 参加申込 5月27日締切

意見に答えることを含めて、 参加者から出された質問 「出向者がJR

るのか、公共交通を守る運動 も含めて、その延長線上にJ 畄 支 部 貨物対話集会

理解深め合おう

交流の場が大切

還元されない。貨物嘱託社員から問題提起に入り、◎会社から問題提起に入り、◎会社

と挨拶。

話集会」を貨物と旅客の仲間
JR貨物に働く組合員との対
会館四階会議室で、「第三回
盛岡支部は四月二三日国労

多くあった。また、IGRで

R復帰問題もあるとの発言が

員の労働条件・職場環境をど働くプロパー・嘱託・臨時社

のようにして改善してゆくの

集会は、佐々木副委員長の三〇人の参加で開催しました。 表して斎藤委員長が、開会挨拶で始まり、支 の構造に 支部を代 貨物

> している。一九年度問題、 事・賃金制度を導入しよ

う新制幅格託と人)。合差で

日貨労等の合意により、

百理化(五、〇〇〇人体 空。NS二〇〇七による大

は、休日数や労働条件の

務員・検修)と他会社嘱

客・貨物近る欠陥、旅

状報告し共 通の認識と

交流を深め エ会しレ回の ナセっ I

レール使用料の負担増が心配。 保全区では人員削減で助役の 仕事をさせられている(盛岡 仕事をさせられている(盛岡 で埋めで転勤がある。現場長 の対応が変わってきている 全体交流では、「旅客の検え会)等の報告がありました。 ってくるか分からない。テⅠP電話化でどこの駅から區岡運輸区分会)◎テレセ か分からない(北上施設・ア拡大、いつ出向に出さ ◎メンテ合理化で仙建の で精神的にまいって退職 人がいる(盛岡駅連合分

修では若い人との技術間格差 の考え方」等、いろいろな意 見が出されました。最後に沢 用書記長が、「職場総点検運 動により、技術・年代の格差 豊正。機関紙の交流により実 態の意思疎通をはかる。貨物 ・旅客の格差実態・問題点を 交流の継続により出して行 とまとめ、懇親会に入り きました。 いの理解を深め合うこと

している。平和を希求する運 国づくり」を推し進めようと

当面 の 主 な B

程

会 第8回地本執行・闘争委員 会 第10回東日本本部軟式野球 ▽5月2・13日 (大宮)

涉委員合同会議 歩3回地本職協代表者・ ▽5月22日(盛岡) 全国交運共済生協第8回通▽5月25日(東京) 常総代会

交

昇進差別事件中労委和解第▽5月27日(東京) □ 5 10 回調を □ 5 10 回調を □ 6 月 10 2 日 (座 比) 第 6 月 回地本ゴルフナ会 昇進差別事件中労委和解第 ■ 5 10 回調を ■ 7 10 回調を ■ 7 10 回調を ■ 8 回 2 日 (座 比) 第 11 回調を ■ 7 2 日 (座 比) ■ 7 2 日 (座 比) ■ 8 日 (東京) ■ 7 2 日 (座 比) ■ 8 日 (東京) ■ 7 2 日 (座 比)



国権の発動たる戦争と、 民は、正義と秩序 否認)、一・日本国 軍備及び交戦権の を基調とする国際 第九条(戦争放棄 平和を誠実に希求 戦争の放棄・ 本国憲法第一

こを直さなければならなくて、 見広告が数多くの団体名・個かけた憲法改悪に反対する意 衛隊のあり方を議論していく ている。憲法を拡大解釈して 言う 会議もあった。この内容のどに広げようと決議された国際 読み直すと、重みのある内容 である。とりわけても今年の 国の交戦権は、これを認めな の戦力は、これを保持しない でもある。戦争よる紛争解決 かし広げる岩手の会」で呼び 記念日の日、 記念日の日、「平和憲法をい外だと感じる▼五月三日憲法 のが筋であり、憲法改正は論 きた結果を反省し、今後の自 態に合わせる」は話が逆転し があるから、憲法を変えて実 が存在する。無いはずのものなっているが、現在は自衛隊 であると思う。第九条を世界 の全文を記した。あらためて 重要な運動課題である第九条 い▼誰でもが知っている憲法 するため、陸海空軍のその他棄する。二・前項の目的を達 っているのにもかかわらず、 は永久にこれを放棄すると謳 今年は戦後六○年の節目の年 のかわからない▼改憲論者の 段としては、永久にこれを放 使は、国際紛争を解決する手 武力による威嚇又は武力の行 人名で岩手日報に掲載された。 「憲法見直し論」が出てくる 「陸海空軍は無いことに **|時代にあった憲法を||**

繰り返さない取り組みを会 次期冬期体制に同じ過ちを 冬期体制見直しも含めて、

事例を①共通事項、②地上設分会から報告された具体的

生であることが認識でき、マ

の提出を目指して、とりま

今後五月中での解明要求

とめをしていくことを確認

して合同会議を終了した。

不十分さによる輸送障害の発

スコミ等にJR会社が強調す

「数十年ぶりの豪雪。

備除雪に関する事項、

3車

設備除雪に関する事項、

社に求めて行くためにも、 ヵ月をかけて各職場で起

きた具体例を集約・精査し

で、関係者一四人が参加し会議」が盛岡市・国労会館)方本部交渉委員・職協合同

一四日に

第二回地

会から報告された約五○件のり組みとして、会議では各分て解明要求を作りあげる」取

令の対応に関する事項、

具体的事例を全体で協議した。

期体制の不備や会社の認識の る中で、あらためて今冬の冬社対応に関する事項等に分け

が、豪雪を予期しての準備列車運休」との話しがある

できなかった積雪量による

・対応、現場管理者・指令

第一回の合同で開催された。

確認された「今冬の豪雪に

回の合同会議の中で

の低の単次的語語の取り

改造を砂砂船川温田を確認

の矛盾から引き起こされてント不転換対応等、合理化

れる、駅嘱託化によるポイダイヤ改正の度に繰り返さ 員の教育等が問題であり、

体で確認できた会議となっ

いる諸問題であることも全

交渉委員・職協代表者会議

が起きた実態を集約して、の対応の中で多くの諸問題 より輸送障害が多発し、そ 玉

三点セット立地受け入れを決原開発地域への核燃サイクル県議会全員協議会でむつ小川

=4.9反核燃の日=

_

年抗議行動を展開している。同日を「反核燃の日」とし毎のたことから、反核燃団体は 今年は四月九日に、第二〇 一五年ぶりに六ケ所村で開催回「反核燃の日」全国集会を、

全国から一、七八○人の仲間した。会場の大石体育館には が結集し「ウラン試験が始ま として日本原燃再処理工場稼 っても再処理は止められる」

仲間と一日行動を共にした。七人が集会に参加し、全国の会・OBの協力を得ながら四 青を中心に会議を重ね、各分 働阻止を訴えた。 集会に、社民党・平和労組東 集会は一四時から、奈良岡 私たち国労青森地区協も今

・デモ行進には約1,800人が結集した(六ヶ所村)

実行委員の司会で始まり同全

う」と挨拶があり、 あるが、一日も早く止めよ 計画は自然淘汰される運命に 能が垂れ流される」「再処理 験が始まれば大気や海に放射「操業前でも、アクティブ試 欠陥だらけで危険な施設」各代表者から「再処理工場は 国実行委員の福山信劫さんら 原子力資 続問題対策協議会・いわて銀六日の二日間「水戸鉄関労組六日の二日間「水戸鉄関労組・国労を盛岡市・国労組察・日の二日間「水戸鉄関労組が出る。

集会

々の事故設計ミス・品質管理 た。六ケ所再処理工場は、数 か、反対運動に追い風となっ しての核燃料サイクル・青森 てはいるが、推進側は国策と 理の危険性や再処理が有利で 県の頑固な受け入れ姿勢によ ミスなどのトラブルが続くな

は、この二〇年間の間に再処料情報室伴英幸さんの講演で

キロを、青森県の豊かな自然ら再処理工場正門まで四・九ピールを採択し、同体育館か の永久放棄」を訴えデモ行進ラン試験即時中止」と「稼働 と将来の子供たちのため「ウ し解散した。

青森地区協 蝦名忠夫

国労からも五人参加。 ※平和環境岩手県労組セン

り、ウラン試験入りの次の段階としてMOX燃料工場の建設へ動き出している。最後に、設へ動き出している。最後に、設へ動き出している。最後に、でを超えている。この点を政

終えた。 課題であることを訴え講演を 集会最後に参加者全体でア

員集会

岩手県交運労協

四月八日、

する目的で毎年開催されてい闘の現状・実態を報告し交流 運輸産業に関わる仲間が、春して開催された。県内の交通 県交運労協主催)が、 ○○五春闘交流集会」 体・単産代表者約四○が参加 社会館で「元気を出そう。 盛岡市・労働福 加盟団 (岩手

(運輸労連)は「今春闘の現 主催者を代表して柴谷議長

40人参加で

る内容であるが、中小は四月、状は、前年を若干上回ってい 闘おう」と決意を込めて挨拶中小の闘いを支えて連帯して 五月が山場となる。 単産の情報をオープンにし 今日の集会を契機として 今春闘を盛り上げていこ 加盟団体

えている課題の報告があり、 等、春闘の闘いや各単産がな がんばろうで集会を終えた。 認し、最後に柴谷議長の団結 全体で支援して闘うことを確 相手に ない』との裁判闘争をして 凹答はあったがあまりにも低 その後、九単産から「有額 支援を」 (全自交労連) (中小一般労組)、 回答を突っ返して 『規制緩和はすべきで 「 国 を

介をして実態交流となり、

今回の交流目的を含めあいさつする

江尻福島臨海労組委員長

その後自己紹

を企画した目的と今回の交流会 加者に感謝の意 と、呼びかけに 流会としたい

=出向組合員と実態交流会= 認識して公共交通を守ること 「第一○回水戸鉄関労組総会流団を代表して高松議長は 員長を選出して進められ、交交流会は、座長に奈良岡委 と、経営の形態が変わろうと で、第三セクター問題を広く

方本部で構成、議長・高松水組・動力車労組・国労水戸地(福島臨海労組・鹿島臨海労

戸地方本部委員長)を含め二

六人(視察団一一

人

の参加

東日本水戸鉄道関連労働組合河鉄道出向組合員・視察団の

底上げが必要でも、そこに働く労働者の統一 じてより良い職 の相互交流を通 ある。働くもの めに有意義な交 場環境を作るた

線存続問題について双方連絡 を取り合いながら運動を進 を終えた。 ていくことを確認して交流

ちながら、公共交通を維持・ 賃設定が必要」との感想を持いることに「利用しやすい運 額にご言言、毎日利用する人額さに驚き、毎日利用する人線に乗車し、初乗り運賃の高 達は大変な出費を強いられて が必要であるとの認識をあら 存続させるには国・県の関 たにした交流会となった。

が激しく安全輸送が危惧されれ、「車両・CTCの老朽化れ、「車両・CTCの老朽化ける対応等が話し合わけ、 状を認識し、今後は平行在来い」(IGR)の実態から現期を提案しても聞き入れな期を提案しても聞き入れな事にいる。利用しやすい定 で努力している」(福島臨海)、 ければならない。雇用最優先 定昇制度が無い。勝ち取らな 基に、労働条件・会社内の労 前に準備をした双方の資料を は黒字だが、鉄道部門は赤字。 視察団一行は翌日にIGR 事

2004年10月1日 制度改定







低掛金を実現/安心を強化/ マイカー共済が前進します。



無料ロードサービスも

詳しい、内容等、お問い 合わせください。



●最寄りの交運共済へ

●ホームページhttp://www.kouun.or.jp